プラスチックリサイクルに関する合同講演会

ーリサイクル用途拡大の可能性を小規模油化と低質プラ選別で発掘し競争力強化へー

廃プラが元の製品に戻る水平リサイクルは家電で事業化され順調に拡大しています。第２ステップとして、シュレッダーダストなどの１桁量の多い低質廃プラの用途開発が大きな課題です。小規模油化は地産地消の形で全国展開しています。シュレッダーダストの選別には新しい提案が複数なされており、事業化の可能性が高まっています。これらの現状を把握し、今後の展開を後押しするべく、関係者の意気込みを深め、参加者の連携を図りたい。

〔共　催〕　プラスチックリサイクル化学研究会（ＦＳＲＪ）
　　廃棄物・資源循環学会（リサイクルシステム・技術研究部会）
〔協　賛〕　高分子学会、石油学会　（予定）
〔日　時〕　２００９年１１月２０日（金）　９～１６時
〔会　場〕　日本大学理工学部駿河台校舎１号館６階ＣＳＴホール（東京都千代田区駿河台１－８－１４）
　　地図：http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/google.html
〔交　通〕　JR御茶ノ水駅、聖橋口改札出口より徒歩３分
〔定　員〕　100名（事前申込み制）
〔参加費〕　10,000円　　当日、受付にて申し受けます。学会部会名で領収書を発行
〔講演時間〕　40分（講演30分＋質疑10分）

〔プログラム〕　http://jsmcwm.or.jp/recycle/

＜ 9：00～ 9:10＞開会の挨拶　（ＦＳＲＪ）真下清

第１部：小型廃プラ油化の将来性　座長（東北大）吉岡敏明

＜ 9：10～ 9：50＞　廃棄プラスチック熱分解技術と油化事業の展望　（産総研）小寺洋一
＜ 9：50～10：30＞　廃FCC触媒を用いた廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ連続油化ﾌﾟﾛｾｽの開発　（北九州市立大）芳賀裕之
＜10：30～10：40＞　休憩

座長（産総研）加茂徹

＜10：40～11：20＞　廃プラスチック油化装置及び稼動中プラント実例紹介　（ｴﾝﾊﾞｲﾛﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ）塚田正隆
＜11：20～12：00＞　医療系廃プラの地域循環型油化ﾘｻｲｸﾙ～東北地域での事例～　（アルティス）川端邦幸
＜12：00～12：50＞　食事休憩

第２部：マテリアルリサイクルの可能性　座長（パナソニック）西川浩二

＜12：50～13：30＞　湿式選別の事業化　（アビズ）浦野広明
＜13：30～14：10＞　乾式比重選別によるシュレッダーダストからプラ選別
（岡山大）押谷潤、（平林金属）中務真吾、（永田エンジニアリング）久保泰雄
＜14：10～14：50＞　廃家電／ｼｭﾚｯﾀﾞｰ等　混合廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸの高純度選別・分離ﾘｻｲｸﾙｼｽﾃﾑの構築
（日立造船）井上鉄也　（協和産業）安藤太郎
＜14：50～15：00＞　休憩

座長（塩ビ協）阪内孚史

＜15：00～15：40＞　塩ビ壁紙のリサイクル　（アールインバーサテック）網本吉之助
＜15：40～16：20＞　ポリ乳酸プラは本当にリサイクルできるか？　（九州工大）西田治男
＜16：20～16：30＞　閉会の挨拶　（廃棄物学会）松藤敏彦

＜16：30～18：00＞　懇親会　２階食堂　参加費1000円

参加要領

以下を明記のうえ、メールまたはFAXで申込みください。

・参加者名（ふりがな）、所属先（部署まで）、連絡先住所、電話番号、E-mail、懇親会参加の有無。

・申込先：廃棄物・資源循環学会、リサイクルシステム・技術研究部会、講演会係、担当早田

terunobu2.hayata@glb.toshiba.co.jp　fax:045-440-2461　tel：045-440-6435

・なお、事前受付制（当日参加は不可）。当日キャンセルは参加費を請求。会員優先。お断りすることあり。

以上